Press Office
U.S. Department of Homeland Security
Washington, DC 20528

Homeland Security

PR28612
ＪＢＮ　外１５２９（産業、入国管理）（０７・１２・１１）
【産業担当デスク殿】２８６１２

◎ 米入国時１０本の指紋採取開始　　ＤＨＳがダレス国際空港で

【ワシントン１１日ＰＲＮ＝共同ＪＢＮ】米国土安全保障省（ＤＨＳ)は現在、ワシントン・ダレス国際空港に到着する海外からの旅行者からさらに多くの指紋の採取を行っている。このような方針変更は、セキュリティーと指紋照合の正確さを強化するため２本の指の指紋から１０本の指紋採取を実施するとの同省の方針強化の一環である。

同省のマイケル・チャートフ長官は「ニュースに関心を持ったり、テレビショーでの犯罪解決シーンを見たりする人はすべて、バイオメトリクス（生体認証技術）の能力を評価することができる。このような措置は合法的な旅行者をもっと手早く処理するのを助けるとともに、その身分を保障し、最前線にいる本省職員が潜在的なセキュリティーリスクにより大きな注意を払うことができる。バイオメトリクスは、未知のテロリストが身元を隠そうとするのを暴き、指紋を残してしまったのではないかという懐疑心を彼らに持たせることになる」と語った。

米国務省の領事館、ＤＨＳの税関・国境警備局（ＣＢＰ）職員は、一部例外を除き１４歳から７９歳までの非米国市民すべてから、ビザ申請の際や米国入国ポート（空港）到着の際にデジタル指紋と写真のバイオメトリクスを収集する。ＤＨＳの「ＵＳ－ＶＩＳＩＴ」（米国訪問）プログラムは、犯罪者、移民法侵犯者、既知および未知のテロリストに対する米連邦捜査局（ＦＢＩ）とＤＨＳの共同監視リストと照合するためデータをチェックする。監視リストのデータは、いくつかの情報源、特に国防総省、ＦＢＩ、ＤＨＳ、その他連邦、州、地域法務当局から集められる。

これらデータベースに対するバイオメトリクス認証は、職員によるビザ発給の適正判断を支援する。それはまた世界中の既知および未知のすべてのテロリストからＤＯＤとＦＢＩが収集した最新の指紋と訪問旅行者の指紋とを比較照合するＤＨＳの能力を向上させる。

ダレス空港は２００７年１１月２９日から、追加指紋を収集する初の入国ポートになった。他の７つの入国ポートは数カ月中に１０本の指紋採取を開始し、残る２７８のポートは２００８年末までにこの処理を始める。このような発表はＤＨＳ、ＦＢＩ、国防総省、国務省の省庁間提携の結果である。

海外からの訪問者から１０本の指紋を採取する予定の次のポートは以下の通り。
ハーツフィールド・ジャクソン・アトランタ国際空港、ボストン・ローガン国際空港、シカゴ・オヘア国際空港、サンフランシスコ国際空港、ジョージ・ブッシュ・ヒューストン国際空港、マイアミ国際空港、デトロイト・メトロポリタン・ウェインカウンティ空港、オーランド国際空港、ニューヨーク・ジョン・Ｆ・ケネディ国際空港。

ＣＢＰとの協力によるＵＳ－ＶＩＳＩＴプログラムは、１０本の指紋採取基準への移行を中心になって進めている。ＵＳ－ＶＩＳＩＴが２００４年に開始されて以来、ＤＨＳは偽造書類の使用を阻止し、訪問者による身分偽称を暴き、数千人の犯罪者、移民法侵犯者の入国を阻止するために、バイオメトリック認証を利用している。

（了）

▿ 問い合わせ先
DHS Press Office,
+1-202-282-8010